

いと 系でんわ



文化発表会 合唱コンクールの部

金賞 3組『YELL』

銀賞 7組『大地の歌』

銅賞 6組『あなたへ』

先週、文化発表会が無事終わりました。3年ぶりに学校全体で行う文化発表会。芸術の秋らしく、西中文化の風が学校中に吹き渡りました。

合唱コンクールはどのクラスも金賞を目指して練習を重ね、当日は全力を出し一番いい合唱ができたのではないのでしょうか。結果発表の後に、本気で悔しい！と言っている声をたくさん聞きました。それだけ「本気」で取り組めたということ、みんなで努力して作り上げてきたからこそ生まれた感情です。感想の中にも、合唱の練習を通じて変化していく自分や仲間、クラスの様子がたくさん書かれていました。殻を破った人、頑張る人に心動かされて自分も頑張るようになっていた人、自分の役割に気づき責任を果たそうと自分にできることに努力した人…『人が人に応える』。練習期間の中で紆余曲折しながらも、この連鎖がクラスを高めていくのです。これが合唱の醍醐味です。

合唱コンクールで高まったクラスの団結力が本物かどうかは、これからの日常に現れます。行事で得たことが日常に戻っても生かされていることが大事なのです。そして、その日常の積み重ねの集大成が卒業式となるのです。日常生活も後輩たちの目標となるように、そして、卒業式まで72期生全員の心が一つになるように、みんなで頑張っていこう。

文化発表会が終わり、体育大会の練習が始まりました。競技も応援も精一杯力を出し切り、西中最後の行事を成功させよう！3年生の底力を後輩に見せてください。期待しています。

（一部抜粋）

金賞を取れなくて本当に悔しかった。でも、この合唱コンでクラスの仲も、何もかもがだいぶ変わったと思う。クラス・パート練習の時間も最初はめっちゃだるいと思いながらやってたけど、どんどん6時間目の合唱練習が楽しみに変わってきていた。本番3日前くらいでは、みんなの合唱に対する気持ちも上がってきていて、目つきが変わったのと、声量が一気に大きくなったのが分かった。本番では円陣も組んで、本当に気合が入ってきていて、クラスが本当に一つになった気がした。本番の歌う時間になった時も、みんなで緊張をほぐしあっていて、団結力がすごく高まっているのが分かった。終わった後も、順位の発表までドキドキしながら他のクラスの合唱を見ていた。けど、残念なことに、銅賞の発表で6組が呼ばれて、みんなの悔しさが見るだけで伝わってきたし、自分も悔しかった。けど、落ち込んでいても変わらないし、結果も変わらないから、体育大会で見返してやろうと思った。だから切り替えて、頑張りたい。

西中が毎年毎年合唱コンクールを続ける理由は「歌の質を上げる!」とかじゃなくて、「みんなで一つになって目標を目指す大切さ」やったり、「団結力」だと思う。毎回毎回本気で1位を目指して練習してたあの時間が本当は大切だったんだなと気づいた。金賞を目指して突き進んだみんなの思いがとても大事だったんだなと感じた。

一番練習して、一番頑張って、一番成長して、一番楽しんで…このクラスで合唱できてとても楽しかったし、このクラスのためなら伴奏も、委員も全部頑張ってやろう!って思えるくらい良いクラスやと思えた!他クラスから、こんな団結してるんやな~って感じられた!体育大会が終わったら、もう勉強一筋!って感じになるから、それまで全力で楽しんでいきたい!

この行事を通して、クラス全体として団結できてすごくいい行事となったと思います。金賞は取れなかったけど、クラスの仲はすごく深まったと思うので、それが一番大きな収穫でした。また、いつも一緒にいる人だけでなく、普段なかなかしゃべらない人とも交流をすることができて本当に良かったと思いました。今、クラスの雰囲気がいいと感じていて、この雰囲気のまま体育大会にもつながれたらいいなと思います。また、合唱コンクールでは悔しい思いをしたので、体育大会では1位を取れるように頑張りたいです。また、自分はブロックリーダーでもあるので、クラスだけでなく、学年・学校を引っ張っていけるようにみんなで協力してまずは自分のクラスからまとめられるように頑張りたいです。

合唱コンクールの練習を金賞という一つの目標に向かって積み重ねてきたおかげで、今までクラスにあった心の壁が少しずつなくなっていくような気がしました。授業では歌わない人ばかりだった男子も、ずっとかたくなに歌おうとしなかった人も日々の練習を重ねて、みんなで一つの合唱を作ることができました。このことや、他クラスのバランスのとれた美しい合唱を聴いて、私たちにはこんな大人数で一つのものを作り上げることができると感じました。

合唱コンクールでは「金賞」を取れたということで、クラスの仲はとてもよくなったと思うし、団結力も高まったと思うので、次の体育大会につなげることもできたらいいし、最初の頃先生が言っていたように、受験は団体戦なので、このクラスのメンバーで頑張っていけたらいいなと思います。これからもクラスで一致団結して最高のクラスを作っていけたらいいなと思いました。この合唱コンクールを通して、みんなとの絆も深まったし、おそらくクラス全体としての絆も深まったので、本当に最高のコンクールだなと思いました。

クラスで初めて団結することができた機会だったと思います。最初は一人一人がバラバラだった感じだったけれど、最終的にはクラスで心を一つに頑張ることができました。他のクラスの合唱を聴いても自信を失うことなく最後まで取り組むことができ、良かったです。この団結を次の体育大会、日常のひとつひとつの授業につなげていけるように頑張りたいです。

今回、中学校最後の文化発表会で、去年の中止があつての今年だったのでとても不安はありましたが、無事成功できて良かったです。特に今年は3年にもなって知り合いが増えて、前に立って常に練習の中心になっている人たちにも友だちが多く、その頑張り、努力、そしてたくさんの苦勞がとても伝わってきて、ばくも頑張ろうと思えました。賞が取れなくて悔しかったけど、最後本番あそこまで持って行けたのはとても良かったです。これからの日々にこの取り組みを通じて学んだことを生かしていきたいです。

合唱コンクールだけでなく、普段の音楽の授業でも今回のような集中力を発揮したいなと思いました。このような合唱コンクールなどは、クラスの団結力が見られるので、私はとても好きです。コンクールは年に1度しかなく、しかも私たちの学年72期生はコロナ禍の中入学してきて、二年の時は合唱コンクールを練習したにも関わらず、開催することができなくて悔しかったのですが、最後三年生で開催できて嬉しかったし、楽しかったです。

中学生になってから自信をなくしてしまっていて、いつもおびえながら過ごしてきました。でも、変わりたいと思ってパートリーダーになりました。理由は自分のため、殻を破りたかったから。みんなの前に立って指示するのは思ったより大変と思わなかったです。そう思えたのは、ほかのリーダーの支えがあったからこそだと思う。みんなで協力して成功させようという意識が楽しかった。合唱コンクールは賞を取るためのものじゃなくて、みんなで協力するためにあるのだと思えました。

私は今回の合唱コンクールを通じて、一人一人が役目を果たすことの大切さを学びました。合唱は声量に偏りがなく、どのパートもしっかり歌えていたのは、全員が声を出して歌えていたからだだと思います。これからも自分の役目は何かを考えて自分にできることを最大限頑張っていきたいです。

自分の中では成長を発見することができたと思っています。自分だけが頑張っているけどほかの人がついてきてくれなかったら意味がないと思って、正直練習もだるいと思っていました。しかし、練習が始まって仕方なく声を出していたけど、気づけば自分はみんなに負けないように声を出すようになっていました。このことから、自分の考えが変わるいい経験になった。

今回の合唱コンクールでは、クラスが一つにまとまって練習できているようには感じなかったのが残念だった。ただ、歌っている人たちの間では、合唱を通じて色々とコミュニケーションをとれたし、つながりを深めることができたのでよかった。自分は歌うことがそこまで好きではないし、苦手な方だけど、合唱コンクールに向けて頑張る練習できたと思う。学年合唱は本番ではとてもきれいな歌声が体育館に響いていたように聞こえてきれいだなと歌いながら思った。この大人数で歌うことももうないかもしれないので、しっかり心に留めておきたい。次は体育大会があるので、次こそはクラスでまとまって楽しみながら全力を出したい。

吹奏楽部の演奏は初めて聞いたけど、もう本当にすごいなあと思いました。たくさんの楽器があり、もう中学生が演奏しているとは思えないくらいの迫力でもう一回聞きたいです。ソロのパートのところも全員がすごくうまくて堂々としていて聞いていて自分が楽しくなりました。

合唱部は少人数なのにすごいきれいな歌を歌っててすごいと思った。伴奏のない曲もすごく完成度が高く、この日のためにたくさん練習したんだなと感動させられた。

